

〔大城真孝議員 登壇〕

○15番 大城真孝君 通告書にしたがい、一般質問をいたします。質問事項 1. 町立津嘉山地区公民館の改築について (1) 昭和55年建設の町立津嘉山地区公民館は、現在の建築基準では耐震構造不適格建物となっているので改築ができないか。

質問事項 2. 幼稚園の土曜日預かり保育について (1) 現在、土曜日も含めた幼稚園の職員体制はどうなっているか。(2) 平成28年度から4歳児受け入れに向けての職員体制はどのように考えているか。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 それでは、質問事項の1点目、町立地区公民館の改築についてお答えいたします。昭和55年に建設され、35年が経過をした町立津嘉山地区公民館は、ご質疑のとおり現在の耐震基準では耐震構造上不適格建物であります。今後、調査しまして、津嘉山地区から要望のある公民館改築の際には、地域の要望や建物の現状等を勘案し、現在制定されている南風原町内の自治会の公民館等整備事業基準要綱や南風原町内の自治会の公民館建設事業に関する補助金交付規定、さらにはその他の有利な補助制度等が活用できないか併せて地域と協議しながら検討してまいりたいと思います。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 質問事項 2 番目、幼稚園の土曜日預かり保育についてお答えいたします。(1)でございます。現在の幼稚園の職員たちはどうかというご質問でございますが、現在、4幼稚園合わせて12クラスのうち本務職員10名、臨時職員2名を配置しています。また、月曜日から金曜日までの預かり保育担当の臨時職員を11名配置しています。土曜日の預かり保育については、各園とも本務職員2名と預かり保育担当の臨時職員2名で対応することにしてあります。土曜日代替の臨時職員は、1園は配置しましたが、他の3園についてはまだ配置できていませんので、早めに配置できるように努力をしていきたいと考えております。以上です。

質問事項 2 番 (2) についてお答えいたします。まず今年度で定年退職する職員が3名いますので、その3名の補充。そして、平成28年度から4歳児保育を4園で開始する予定でございますので4クラス4名の職員増になります。また、現在、2幼稚園のクラス担任が、それぞれ1名が臨時職員ですので、合計で9名の職員採用を要望しております。以上でございます。

○議長 宮城清政君 15番 大城真孝議員。

○15番 大城真孝君 公民館に関しては、現在の公民館も津嘉山小学校が分離する時に地域の理解の下で馬場を提供し、そのなかで建築された建物です。今でも人口が9,000名を越しているなかで地域コミュニティの場としてどうしても公民館を改築しなければ、耐震構造上不適格でそれに該当させるにしても補強には4,000万、5,000万円かかります。どうしても町行政の高額な補助金がなければ、地域だけでは今の大きさの公民館は造りきれないだろうという考えでありますので、ぜひとも皆様のお力を貸していただくことをお願いいたしますがどうでしょうか。町長から答弁をお願いします。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 お答えします。議員がおっしゃるように、津嘉山公民館は、津嘉山小学校の馬場の経緯、いろんな関連があることを私も理解しております。さらにまた、40年近くになろうとしている耐震不適格だということも先ほど副町長からありましたし、その他の有利な補助制度を活用してまいりたいともありましたので、津嘉山には公民館というより観光会館みたいなかたちで何らかの名称で活用できる可能性があるのではないかという思いを持っております。議員の皆さん方、区長も一緒になって町と話し合いをやってもらえればありがたいと思っております。そして津嘉山には昔からの伝統である大綱曳きがあります。どの地域にもないチヌブ、津嘉山独特ではないかと思えます。棒で支える、シタクが歩み寄っていく、どこにもない観光との結びつきになろうかと思っており、またこれを後世に保存していくためにも保存する場所も大事だと思います。こういうことも含めて真孝議員からありました経緯について、最大限に有利な補助制度が活用できるように私たちもやってまいりたいと思えます。ぜひまた、いろいろな角度から要望してもらえればありがたいと思っております。私たち、最大限の努力を尽くしてまいります。

○議長 宮城清政君 15番 大城真孝議員。

○15番 大城真孝君 ありがとうございます。津嘉山は、一括交付金で区画整理課がやっているクサティ森構想、あれも、アガリ（東）、イリ（西）の両グムチ、広場の整備を入れて観光に向けて努力をやっていきますので、ぜひとも公民館にしても綱曳き館だとか観光に寄与できるようなものにすれば、どうにか皆さんのお力で立派なものができるのではないかと。一括交付金あたり、補助金が80パーセントぐらいなければ断念しようと評議員会でも話が少し出ています。いくら人口が多いにしても加入しているのはその5分の1程度です。どうしても区民負担には限度があります。ぜひお力を貸して下さるようお願いいたします。この質問は終わります。

では、幼稚園の土曜日預かりについて、現在クラスはあるけれども2名は本務ではない

ということですよ。一番気になるのは 4 歳児で、次年度に向けて皆さんは 4 名を予定していますけれども、各幼稚園で 1 クラスしか増えない考えなのか。町全体で 120 名、それ以外だったら幼稚園には来るなという考えを持っておられるのか。来た場合にはどう対応しようとしているのかお伺いします。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 新垣好彦君 ただいま 4 歳児の関連でのご質問でございます。予定では各幼稚園に 1 クラス 30 名、4 幼稚園ありますので 120 名を考えてございます。ご質問がありましたように、30 名を超えたらどうするのか、超える園が出てくるのではないかとのご質問でございます。現在は 1 園ずつを考えておりますが、増えたときにはそれに応じて対応できるようにしていこうというふうな考え方をしております。構想的には 120 名と考えていますが、地区によって、園によってはそれを上回ることも予想されますので、それについては対応できるように今後調整をしていきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 15 番 大城真孝議員。

○15 番 大城真孝君 そうなった場合、その地区の職員体制、クラスは本務で持っていく考えなのか。当初の計画では 4 園で 4 クラスとしています。そういう考えでいますと、もし増えた場合は臨時職員を充てようという考えをしているのか。皆さんが 4 クラスしかないという根拠には、理解し難い面があるのです。保育園にいる子どもたち、今の 3 歳児が 300 名を超えています。その 3 分の 1 ぐらいしか来ないという考え方をお持ちなのですか。そのへんを説明してください。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 新垣好彦君 現在の 3 歳児が 4 歳児のところへ来る視点で、総体的に現在の人数を各保育園の 4 歳児での受け入れとしていくと、現在のところ町では 120 を想定しているというようなことでございます。保育園と幼稚園に来る児童について、今のところ掴めていませんので、そういった基本的な考えで行っていかうという予定でございます。

○議長 宮城清政君 15 番 大城真孝議員。

○15 番 大城真孝君 皆さんが 4 歳児受け入れをしようという目的は、待機児童解消を含めた考え方だったと思うのです。そうであれば、今増築する部分、津嘉山幼稚園が 3 クラス、他の 3 園は 2 クラス増えることになっていますよね。当初は 4 歳児受け入れが両方と

も2クラスずつで、津嘉山が3クラスかと思うのです。皆さんの話を聞くと、4園に1クラスの考えですよね。そうしたら、あと1クラスの増築は必要ないじゃないですか。2019年あたりから那覇市でも糸満市でもやります認定こども園について全体的に含めて民生部と詰めていかなければ、皆さんは3歳児までやろうとしているわけでしょう。全く考えていませんか、教育委員会は。そのへん、答弁をしてください。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 新垣好彦君 今質問がございました、3歳児につきまして、幼稚園教育は3歳から5歳までが対象になります。それで3歳につきましては、今般議論してまいりました子ども・子育ての計画にも、いったん現在の幼稚園で5歳と4歳を対象に預かりましょようと、そして3歳については他の現在の保育園、保育所等も勘案しながら、平成29年度もう一度その計画を見直して検討していこうというようなことでございます。現在のところ、幼稚園の対象児は3歳、4歳、5歳であるのですけれども、平成29年度にもう一度その状況等を見て検討していきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 15番 大城真孝議員。

○15番 大城真孝君 平成29年度で検討しようと言いますが、皆さんは今年設計を入れて増築しますね。そして、また平成29年度にもう一度増築しようとしている。今で将来計画までやって建物を造るべきであって、その場しのぎのやり方はおかしいでしょう。行政は、民生部含めて将来的な計画をもつべきでしょう。何のために保育園関係を民生部が見ているのですか。両方とも一緒になって、同じテーブルについて将来計画までやらなければ、平成29年になってやっぱり3歳児までやろうといったとき教室が足りないわけでしょう。足りませんか。皆さんの計画では、津嘉山幼稚園が3クラス、他の3園は2クラスずつ増えます。その考えは、平成29年度の見直しでも大丈夫なのですか。答えてください。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 新垣好彦君 今の計画は、建物の増築も4歳児を対象にしているものでございます。3歳児につきまして幼稚園で預かるかにつきましては、現時点の今年度増築する分に含まれておりません。これにつきましては、平成29年度にもう一度見直し検討しましょうという計画でございますので、現時点では反映されていないということでございます。

○議長 宮城清政君 15番 大城真孝議員。

○15番 大城真孝君 平行線のように。皆さんは、3歳児は受け入れないという考えを基に今の計画を進めるのであればよろしいです。と言うのは、今から増築する部分を2階建てにするのかしないのかが出てくるでしょう。3歳児を受け入れるとなったときにまた新たに増築するのですか。2階建てにするのかしないのか、今でやらなければ駄目ですよ。今年、設計するのですよね。今年、4歳児受け入れのものを造るわけですから、今で計画を持たなければ、基礎はどうするのですか。その上に乗せることはできないわけでしょう。だからそのへんまで含めて民生部とちゃんと詰めて、保育園がいいのか、法人をあと何園造ればいいのか、幼稚園でやったほうがいいのか町全体的に考えるのが普通です。教育委員会では3歳までできます、だから今やろうと、そのための皆さんの受け入れは1クラスですよ。皆さんが1クラスだと言っているのがおかしいわけです。もし来た場合、幼稚園を希望しているのに皆さんはどこかにお願いして行かせるわけでしょう。それはあなた方の勝手です。普通はできないですよ。保護者がやるべきであって、なぜあなた方がこれにまで線を引くのですか。だから全体的に同じテーブルの上で検討していかなければ、教育委員会は教育委員会、民生部は民生部、財政のこともあるわけでしょう。認定こども園がいいのか、保育園がいいのか、何がいいのか、幼稚園も他の所では民間に貸して運営させようというところあるもわけでしょう。今だからこそ全体的な取組をしなければ、皆さんが4歳児を受け入れる、それでも1クラスずつということでは津嘉山の場合2クラスですが、それ以上来た場合は断るのですか。津嘉山は今、人口が増えています。しかも区画整理でマンションも建っています。そのへんの受け入れはどうするのですか。どこかに行ってくださいと。そうなると一緒にじゃないですか。何も待機児童解消にはならないですよ。子ども・子育て支援ですから、町長も保育園もあなた方も一緒にやらなければおかしいですよ。皆さんはやりたいと、要望したけれども財政が認めなかったとなつてはおかしい。一緒になってやるべきでしょう。理解できるぐらいの資料を持って行って予算獲得をするのがあなた方の仕事じゃないですか。保護者に迷惑をかけては駄目です。津嘉山で2名、3名多くなったとしたら、どこかに行ってくださいと言うわけでしょう。そのへんはどうするのですか、教えてください。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 新垣好彦君 4歳児の人数につきましては、保育園でも4歳児の受け入れはありますので、トータル的に保育所と幼稚園と町の4歳児に対しての受け皿については、子ども・子育て会議の中で民生部のこども課とは調整をして、待機児童の部分の受け入れとしては幼稚園で1園30名あたりの人数で130名、それに保育園の4歳児の部分を合わせてもそこには130名の定員だけでも全体的にはそれを80パーセントぐらいの人数になるのではないかと予想はしています。それで実質的には保育園に受け皿がありますので、そ

れができない部分のだいたい130名ぐらいで可能ではないかと予想をしてこの計画を作っています。津嘉山につきましては、ご指摘がございましたように人口増、園児の増が予想されますが、現在まだ読めていないところがございますので、1クラスもしくは2クラスぐらいで可能ではないかと予想してございます。

○議長 宮城清政君 15番 大城真孝議員。

○15番 大城真孝君 今、部長は、4歳児は保育園で受け皿があるとありました。受け皿があるのだったら、やる必要ないのではないですか。なぜ保育園にさせないのですか。そうでしょう。保育園がいっぱいだから、教育委員会でもやるわけでしょう。受け皿があるのになぜ教育委員会もやろうとするのですか。矛盾している。こんなのおかしいでしょう。だからあなた方は民生部とやっていると言うが、やっていないということです。幼稚園で何クラス必要なの民生部と詰めてないわけでしょう。皆さんは皆さんの考え方だけだと思います。受け皿があるのだったら、皆さんが4歳児を受け入れる必要はないでしょう。今の話は通らないでしょう。こんな答弁をされても困りますよ。何のために来年度から4歳児受け入れをやろうとするのですか。受け皿があるとする皆さん方は、保育園に行かせる前提なのでしょう。だからあなた方がやる必要はないということです。なぜ無駄なことをやろうとするのですか。だから無駄という話も出てくるのです。だから詰めていないということです。どうすれば待機児童が減るか、一緒になってやるべきでしょう。受け皿があるのであればやる必要はないのです。そうではないですか。なぜ受け皿があるところをやろうとするのですか。それは無駄と言われます。必要だということであれば、保育園でもやっているけれども、幼稚園でも1クラス分、2クラス分は必要なのだと言うぐらいでなければ、増築してまで事業をする必要はないです。そうではないですか。どう思うか答えてください。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 ただいまのご質問にお答えいたします。確かに4歳児保育を次年度から開始しようと決めましたのも、本当に時間がない状況のなか、教育委員会内で話をして決定したわけがございます。と申しますのも、この4歳児保育、幼稚園での2カ年保育に関しましては、従来から望ましいというような各方面からの意見もございまして、なかなか諸般の事情で踏み切れない状況がございました。今般の子ども・子育て新制度が施行されるにあたりまして、この関連法律の趣旨が各地方公共団体はあらゆる資源を活用して子ども・子育てを支援しなさいというような趣旨でございまして、教育委員会としましてもその法の趣旨に則りまして、従来から2カ年保育の要望があったとの情報もございまして、良い機会だと議論をいたしまして、4歳児保育も実施しようと決めたわけござ

います。そういうことで、教育委員会としましては、基本的には幼児教育課程の推進ということでございますけれども、また今回出た新しい制度の趣旨に則って、待機児童の解消にも協力しようというようなことございまして、われわれもできる範囲で待機児童解消に協力していきたいというような考え方がこの 4 歳児保育の実施ということに含まれております。教育委員会としまして、まずは施設整備をやりまして、次年度から 4 歳児を受け入れていく考え方でございます。議員ご指摘のように、確かに 1 クラスを予定して 2 クラス分の要望があった場合どうするのか現実的な問題も想定されますが、その点に関しましては申し訳ないのですが民生部との調整は十分にされておられません。そういうことで、早めに民生部との調整をしまして、教育委員会が受け入れることができない分についてはどうするか、やはり待機児童解消の所管は民生部でございますのでそちらのほうにも真摯に相談をしまして、われわれはこれだけしか受け入れられませんよ、それ以上のことはどうしましょうかの部分を含めて今後テーブルを設定しましてお互い議論をしてみたいということでございます。いずれにしましても、基本的にわれわれ教育委員会も待機児童解消にはできるだけ協力していきたい考え方でございますので、ぜひ議員各位のご理解をお願いしたいと思っております。以上です。

○議長 宮城清政君 15 番 大城真孝議員。

○15 番 大城真孝君 教育長が言うのも理解できます。私が気にしているのは、土曜日預かりもやった時点から次に 4 歳児受け入れをやろうということまで詰めればこういう問題は出てこないということです。全体的にやるべきだったということです。将来計画までやらないとおかしいでしょう。私が言っているのは、それをやって欲しいということです。土曜日預かりをやったのは、土曜日が仕事の保護者がいる、だから保育園のほうがいいから幼稚園には来ない、そういう苦情もあった、それを解消するためだったのでしょうか。保護者は、幼稚園と保育園とを比べるのですよ。そうでしょう。だから一緒になってやらないと、何も保護者のためにならないよというわけです。逆に皆さんには財政的な問題が出てくるのです。最初で出しておけば、何も問題はないわけです。3 歳児のことは平成 29 年にやりますとして、では 2 階建てになった場合にどのようにするのですか。今でやっておかないと、今から設計もやる建物では 2 階建てにできなくなるわけでしょう。基礎を大きくしたとしたら、何のために基礎を大きくするのですかと言われる。そのままやるということは、3 歳児はやらないという答えが出るのですよ。それは分かっていますか。だから今から詰めておきなさいと言うのです。設計も今からやるはずです。設計の段階から、将来、3 歳児まで受け入れるのか受け入れないのかこれを先に結論を出さないと前に進めないと思います。そこは分かりますか。課長は設計を担当するはずですから、課長が答弁してください。

○議長 宮城清政君 学校教育課長。

○学校教育課長 稲福 正君 ただいまの質問にお答えいたします。確かに、将来2階建て等を考えると柱、基礎、そういうところはボーリングが大きくなっていくという状況が出てきます。しかし、今のところ3歳児保育については平成29年度で検討しようということで民生部とも詰めておりますので、その期間、今後早めに詰めていくのか検討したいということです。ただ、4歳児保育については平成28年度実施ということですので、現在の実施設計を進めているということです。どうしても9月までには実施設計を完了したいということで進めておりますので、その期間的なものでは3歳児保育まで平成29年度に検討していこうと考えていますので対応できないかと考えています。ただ、補助金の制度としてはこの年度、年度で増築する分の補助金しかもらえないということですので、仮に3歳児保育をあと5年後に実施するとなった場合にも、今現在では上に増築は基本的にできないということです。柱、基礎等は当然、今回の補助金の対象には厳しいですよということになります。そういうことですので、こちらとしては今後人口が増えて増築する場合には、平面的に増築できる翔南幼稚園については2階は考えずに、残りの3園については今後また人口増に伴って保育室の増が見込めるということで2階建ても検討しようと考えております。その方向で進めていきたいと考えております。津嘉山幼稚園の4歳児ですが、今現在、われわれのところでは何名来るか見通しが見つからないということがありまして、30人までであれば1学級ですから、これが当初から2学級想定をして補助金を使って整備をしたあと、それが減る状況であればその分は返還することになりますので、われわれの数字としては1学級増やしたいということで計画しております。そういう事情で進めておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

○議長 宮城清政君 15番 大城真孝議員。

○15番 大城真孝君 確認します。今回、増築する分については、2階建ての計画はないのですよね。そうですね。ないのですよね。現予算ではない、やらない計画をしているのですよねと聞いているのです。あるのであればあると、あるか、ないかで教えてください。

○議長 宮城清政君 学校教育課長。

○学校教育課長 稲福 正君 増築としては、4歳児、5歳児の受け入れで将来人口が増えた場合は増築が見込めるということで2階建ての計画を進めていきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 15番 大城真孝議員。

○15番 大城真孝君 では、2階建ては進めようとしているということですよ。2階建てするには、最初で基礎を大きくしなければいけない。4歳児は1クラスしか受けないと言うのになぜさらに増築する必要があるのですか。1クラスで十分足りると言っておきながら、なぜ4歳児が増えるというのはどこに根拠があるのですか。通らないでしょう。はっきり言いなさいというわけです。今、空いているわけですよ。北丘も南風原も翔南も2クラス、津嘉山は3クラス増えることになっているのです。増えたにしても、今増築する分で十分に教室はあるわけでしょう。2クラスずつあるのですから。では、2階建てにする計画はないと言いながら4歳、5歳児が多くなれば増築するから今で基礎を大きくしようとなぜはっきり言わないのですか。金をかけて増築するのですから、保育園でやるべきは保育園でやる、将来的にはこども園かどこかにさせる、将来を含めて検討していかなければ、今から建築もするのですから。皆さんが3歳児も受け入れるのだったら2階に延ばせないわけでしょう。4歳児、5歳児のクラスは空いているはずですよ。津嘉山も2クラス空く、5歳児が入ったにしても1クラスある。4歳児の分は、各園1クラスずつ残るのです。だから気になるのはそのへんです。皆さんは、増えた場合、4歳児で1クラスしか増えないということで職員は4名採用ですよ。本務を充てる考えです。もし、津嘉山が増えた場合に、臨時職員で対応するのか、本務職員で対応するのか、どう考えているのかお答えください。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 新垣好彦君 4クラスを予定していますが、増えてあと1クラス増になったときにはどうするのか人的対応については、4クラスに対応できる人材の確保ですので、増えた場合には臨時的任用で対応してまいりたいと考えております。

○議長 宮城清政君 15番 大城真孝議員。

○15番 大城真孝君 では、増えた分については、どこも臨時対応でもっていく考えだということですよ。皆さんは、民生部とちゃんと詰めて、どのぐらいあなた方が受ける、とすると、職員体制はまた変わってくる。申込みをしないと分からないから、みたいに逃げるかもしれないけれども、今でやれば問題ないのだよ。将来、法人を増やすのか、いろいろ出てくるかも分かりませんし、こちらで中身まで言うことはできませんから、そういう問題まで町全体的に考えて子どもたちのことはやっていかなければいけないと思います。もちろん財政のこともありますので、町全体的に考えてもらわなければ、民生部は民生部で考えられたら地域、保護者が迷惑します。ぜひ一緒になって取り組んでもらいたいと思います。以上、終わります。